

東北AID

トーホク エイド

東日本大震災 復興支援チャリティー フェスティバル

Tohoku Aid Charity Festival

performance

海岸組 / よさこい風神 / オカヘルスアップクラブ
ダンスクラブEMOTIONS / トゥモロ / イワズモガナ
富山アカデミー女声合唱団 / 大空へ飛べ
Miyo&Bamboo / Akaru / 前畑匡伸
越中家漫欽丹 ほか

...and

バザー、カフェ、写真展示など
ロビーでもいっぱい
お話ししましょう。

オーバードホール

2011

9.19

[月・祝] 12:00~16:30

featur

アンデス民謡グループ ウエイノ

Wayno



アジア子どもの夢
NGO Asia Children's Dream

主催: 東北エイド実行委員会 共催: アジア子どもの夢

当フェスティバルの収益は、被災地への救済活動に使わせていただきます。

チケット: 一般2,000円、中学生以上1,000円、小学生500円、未就学児は無料

チケットは、アスネットカウンター、アーツナビ、とやま健康生きがいセンター、富山YMCA、カフェゴッコ他県内コミュニティカフェなどで販売

東日本大震災復興支援チャリティーフェスティバル

東北AID

ガンバレ、トーホク!
トーホク エイド

東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。
残された方々の無念を想い、生き続ける勇気にエールを送ります。

東日本大震災復興支援チャリティーフェスティバル「東北エイド」は、「アジア子どもの夢」の被災者救済活動のための資金集めを目的としたイベントです。みなさん楽しんでいただき、みなさんの想いを集めて、私たちは被災地への支援を続けていくことができます。

「アジア子どもの夢」は、ベトナム戦争末期に、現地で難民救済ボランティアをしていた川渕映子为中心となり、1996年に主婦5人で発足、以来富山で活動する草の根NGOです。ベトナム戦争の枯葉剤で被災した子どもたちの自立支援を始め、スマトラ沖地震津波や中国・四川大地震の際にも被災者支援を行ってきました。

3月11日の大震災後、アジア子どもの夢には、たくさんの物資が届けられました。集まった物資、テレビに流れる東北の地獄…「とにかく現地に行かなくては」と、3月19日にバン1000個とお菓子、水、トイレトペーパー、生理ナプキン、乾電池、毛布、長靴、歯ブラシ…中型バスをチャーターし、積めるだけの物資を積んで有志8人で宮城県石巻市に向かったのが第1便。第2便以降は毎週末、焼きそばや豚汁の炊き出しと物資配布を8週連続で行い、6月以降も月に一度のペースで「救援バス」を出しています。

私たちが第1便から通う石巻市は、今回の震災で最も被害の大きかった地域のひとつです。水道や電気、ガスなどは整ってきましたが、代わりに政府からの救援物資が途絶え、スーパーなども少ないため、未だに物資が足りていません。車があれば買い物にも行けますが、家財を失い、職を失ったみなさんにとって、10円のお金も無駄にはできない。私たちは被災者のみなさんに物資を手渡しし、一緒に食事やコーヒーをいただきながら話を聞き、刻々と変わる被災地の状況に応じて次に届けるべき物資を選び、届ける場所を探そう…そういった活動を被災者が仮設住宅を出るまでの2年間を目標に、続けていきたいと考えています。

「東北エイド」のステージには、私たちの活動を長年に渡り応援してくれているウェイノを中心に、県内はもちろん被災地からもアーティストが参加。プロに混じってアマチュアも一生懸命に演じます。バザーやカフェもお楽しみ、「東北エイド」は「楽しむボランティア」です。どうか私たちの活動にご賛同いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

賛同金の振り込み先: ※通信欄に「東北エイド」とお書きください。
郵便振替: [番号] 00790-1 [記号] 50557 「アジア子どもの夢」
銀行振込: 北陸銀行・東富山出張所 [普通] 4260630 「アジア子どもの夢」

東北エイド実行委員会 <http://ngoaky.exblog.jp> [アジア子どもの夢ブログ]
事務局: 富山県富山市森住町10-16 NGOアジア子どもの夢内
電話: 090-8263-7554 (カワブチ) 076-428-2506 (有限会社コース)



セーサー・フェレイラ
[パーカッション]

フランシスコ・ロドリゲス
[ギター]

谷中秀治
[ベース]

レイデル・ドラード
[チャランゴ]

ルイス・ビルチェス
[ケーナ・サンボニャ]

Wayno ウェイノ

1989年の結成以来、国連祭やN.Y.自然博物館など、N.Y. (ニューヨーク) を基点に、欧米などで公演。アンデス民謡の古典からスペインやアフリカ、カリブなどの要素を取り入れた現代曲まで、幅広いレパートリーを持ち、自作曲にも取り組む。N.Y.の地下鉄駅構内でライブ演奏をする「MUSIC UNDER NEW YORK」のM.T.A. (N.Y.公共交通公社) 公認ミュージシャンでもある。日本でも各地での公演の他、寺院・学校・病院などへの訪問演奏も行い、情感あふれるステージで、谷中の故郷富山県を始め、多くのファンを持つ。